

病理診断科、泌尿器科を受診している患者さんへ

当科では、下記の研究を実施しています。この研究は、愛知医科大学医学部倫理委員会において、ヘルシンキ宣言の趣旨に添い、人を対象とする医学系研究に関する倫理指針、ヒトゲノム・遺伝子解析研究に関する倫理指針等を遵守し、医の倫理に基づいて実施されることが審査され認められた研究です。

今回の研究は、対象となる患者さん一人ずつから直接同意を得て行う研究ではなく、研究内容の情報を公開し、研究対象者となることを拒否できる機会を与えることが求められているものです。もし、この研究に関するお問い合わせなどありましたら、以下の「問い合わせ先」までご連絡ください。

記

研究課題名	前立腺導管内癌を対象とした臨床病理学的検討
研究機関名	愛知医科大学病院
研究機関の長	病院長 藤原祥裕
担当科等	病理診断科
研究責任者	助教 高原大志
研究の意義・目的	前立腺導管内癌は、予後不良であることが知られています。これらの症例の病態を解析することで、前立腺癌の適切な治療選択、新しい治療法の開発につながる事が予想されます。
対象となる患者さん	2012年1月から2019年12月までに前立腺癌と診断され、前立腺摘出手術を受けた患者さん
研究の方法	手術標本の一部から小さなサンプルを採取して、予後と関連する遺伝子の発現を調べます。
研究期間	倫理審査承認日 ～ 2024年3月31日
研究に用いる試料・情報	試料：ホルマリン固定ブロック 情報：血液検査結果、放射線画像検査結果等
外部への試料・情報の提供	なし
試料・情報の利用又は提供を希望しない場合	本研究への試料・情報の利用又は提供を希望しない方は、下記問い合わせ先まで申し出てください。ただし、試料・情報が個人を識別できる場合のみ対応可能です。
問い合わせ先	愛知医科大学病院 病理診断科 担当者：助教 高原大志 〒480-1195 愛知県長久手市岩作雁又1番地1 電話 0561-62-3311（内線 37415）